

中野市立延徳小学校 令和8年度 グランドデザイン

目指す子ども像：自分自身の能力や個性を最大限伸ばし、自分らしくとことん学ぶ子。
目指す学校像：すべての子どもが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求するため、自ら学び方を選択でき、自己実現できる学校。

全職員で全校児童を育てる

○延徳ガラポン

縦割り班活動

○全校道徳 ○縦割り体力アップ ○縦割り清掃 ○縦割り給食 等

「やりたい」を選択

NEWクラブ活動の充実（回数を増やし1回の時間を延ばす）
NEW縦割り総合（3年生以上・テーマ選択制）の実施

特例校制度の活用

NEW生活科や総合的な学習の時間、特別活動の時数を増やし縦割り総合やクラブ活動、全校集会の時数を確保するため授業時数特例校制度申請に向けた手続きを進める。

探求的な学びの充実

○生活科や総合的な学習の時間（学級総合）における「ふるさと学習」の推進。

○教科学習における「主体的・対話的で深い学び」の実現。

自由進度学習の推進

NEW自ら学習の計画を立て、自らのペースで主体的に学ぶ自由進度学習を導入する。その際、タブレットを積極的に活用する。

延徳っ子応援団の支援

○ひだまりタイム
○読み聞かせ
○クラブ活動講師
○田んぼ水族館
○見守り活動
○登山ガイド
○英語指導
○米作り指導 他

自己決定

NEW全校集会の時間を設け、学校生活にまつわる大小様々な事柄について児童が話し合って決定する。

職員の研修

○成城大学教授の岩田一正先生を中心講師に招いて実施する校内研修
○積極的にお互いの授業を公開する日常的な校内研修
○先進的な学校への視察
*ウエルビーイング実践校支援事業の活用

県教育委員会による支援

○北信教育事務所指導主事による支援
○長野県教育委員会学校改革支援センターによる伴走支援
○中野市教育委員会に配置された指導主事による伴走支援
*ウエルビーイング実践校支援事業の活用



グランドデザインの図に **NEW** と示してあるのは、令和7年度から新たに始める取り組みです。